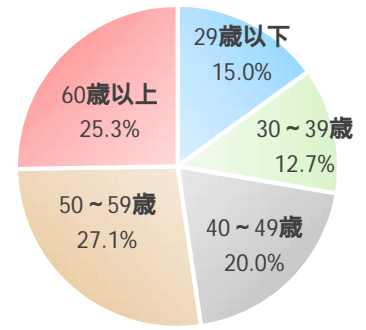


エイジフレンドリーガイドラインについて

～ 高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン～

年齢別災害発生状況

- ▶ 千葉県内で発生している労働災害のうち、60歳以上の労働者が占める割合は**25.3%**です。令和4年の休業4日以上労働災害発生件数のうちコロナ関係除く。
- ▶ 労働災害発生率は、若年層に比べ高年齢層で相対的に高くなり、中でも転倒・腰痛などの行動災害の発生率が高い状況にあります。



エイジフレンドリーガイドラインの目的

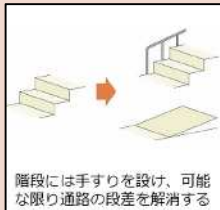
上記のとおり、高年齢労働者の労働災害が増加していることから、エイジフレンドリーガイドラインが策定されました。このガイドラインは、高年齢労働者が安心して安全に働ける**職場環境づくり**や労働災害の予防のための**健康づくり**を推進することを目的としています。

エイジフレンドリーガイドラインの概要

本ガイドラインでは、事業者及び労働者に以下の取組が求められています。

職場環境の改善

- ▶ 高齢者でも安全に働き続けることができるよう、施設、設備、装置等の改善



事業者
の取組

安全衛生管理体制の確保

- ▶ 経営トップによる安全衛生方針表明
- ▶ 高年齢者災害対策の担当者や組織の指定
- ▶ リスクアセスメントの実施

安全衛生教育

- ▶ 高齢者対象の教育では、時間をかけ、写真、映像等を活用し、理解しやすい内容とする
- ▶ 再就職者等には特に丁寧な教育訓練を実施

高年齢労働者の健康や体力の状況の把握

- ▶ 健康診断の確実な実施
- ▶ 体力チェックの実施 チェック表→



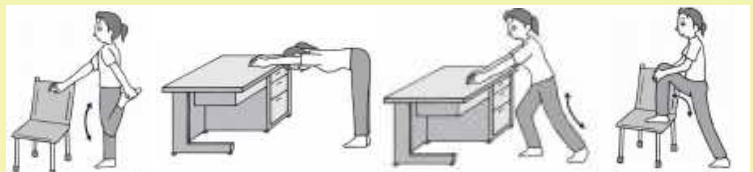
高年齢労働者の健康や体力に応じた対応

- ▶ 把握した健康状態等に応じた業務の選択
- ▶ 身体機能の維持向上のための取組み実施

労働者
の取組

自らの健康づくり

- ▶ 自らの身体機能や健康状況を把握し、ストレッチ等の運動を取入れ、食習慣の改善等により生活習慣の改善をする



ストレッチの例「介護業務で働く人のための腰痛予防ポイントとエクササイズ」より

その他のエイジフレンドリーガイドラインに関するパンフレット等は右のQRコードまたは次のキーワードで検索してください。

高年齢労働者 厚生労働省

Q 検索

